

設 計 書

	課 長		課 長 補 佐		工 務 係 長		審 査 者		設 計 者		
年 月 日	令和 8 年 月 日					工 事 概 要	市道波留大曲線 浜田橋 配水管補強工 L = 65m				
	第 号										
施工位置	阿久根市 波留 地内										
工 事 名	令和8年度 市道波留大曲線浜田橋添架管補強工事										
工 期	240 日間	施工方法		請 負							
支出科目	年度	会 計		款	項		目	節			
	区 分	金 額			摘 要						
	設 計 額	円									
其 の 他	市道波留大曲線浜田橋に添架された配水管の老朽化対策として管更生工事を実施することで、安全で安心な水の安定供給に資するものである。										

費 用	金 額	備 考
事 業 費	円	
工 事 費	円	
本 工 事 費	円	内 訳 (工事価格 円 消費税相当額 円)
付 帯 工 事 費	円	
測 量 及 び 試 験 費	円	
用 地 及 び 補 償 費	円	
換 地 諸 費 又 は 権 利 交 換 費	円	
事 務 費	円	
事 務 雑 費	円	
工 事 雑 費	円	

令和8年度 市道波留大曲線浜田橋添架管補強工事

当 初	変 更
一金 円也	一金 円也

経費計算書

令和8年度 市道波留大曲線浜田橋添架管補強工事

	直接工事費: (内管材質費:) (内工場製作品費:) (内製品費:) (内電気機器費:) (内産廃処分費:)	工種区分: 開削工事及び小口径推進工事 地域区分: 地方部・交通の影響を受けない イメージアップ費: 対象外 前払金支出割合: 35%~40% 契約補償の方法: 金銭的保証
処分費等の控除	直接工事費内処分費 + 準備費内処分費 = 処分費等 直接工事費 + 支給品費 = 30,000,000 3千万円以下 処分費等 + (率計算対象額(P)) + 準備費内処分費 + 事業損失防止施設費 = 対象控除額 3%以下 3%以下 処分費等控除額 =	
共通仮設費	直接工事費 + 事業損失防止施設費 = 対象控除額 共通仮設費率の算定 共通仮設費率 対象額 × (採用値 + 補正值) =	
運搬費	質量20t以上の建設機械の貨物自動車等による運搬 基本運賃料金(A1) × (1+ 特大品割増(C1) + 深夜割増(C4)) + 悪路基本運賃(A2) × 悪路割増(C2) + 冬季基本運賃(A3) ((冬季割増(C3) + 諸料金(B)) × 台数(D) + その他諸料金(M) × 機械の運搬中の資料(K) +) 仮設材(鋼矢板, H形鋼, 覆工板, 敷鉄板等)の運搬 基本運賃(E) × (1+ 深夜早朝割増(F1) + 深夜早朝割増(F2)) + 運搬質量(G)t × + その他諸料金(H) (基地積込 + 現場取卸 + 現場積込) × 基地取卸 + + 重量(t) = (重建設機械の分解・組立・輸送費 +) × = + = 運搬費(積上) 計 =	
準備費	伐開, 除根等に伴う運搬及び処分費 + + + + = 処分費 + + + + = 準備費(積上) 計 =	
共通仮設費	事業損失を未然に防止する為の仮施設費 + + + + = 事業損失を未然に防止する為の調査費 + + + + = 事業損失防止施設費(積上) 計 =	
安全費	交通誘導員等の交通管理に要する費用 交通誘導員A 昼間(交代無) 昼間(交代有) 夜間(交代無) 夜間(交代有) 24時間(交代無) 24時間(交代有) = 交通誘導員B 昼間(交代無) 昼間(交代有) 夜間(交代無) 夜間(交代有) 24時間(交代無) 24時間(交代有) = その他安全費 + + + + = 安全費(積上) 計 =	
役務費	借地料 + 用水・電力基本料金 + 電力設備工事負担金 = 役務費(積上) 計 =	
管理技術費	品質管理費 + 出来形管理費 + 工程管理費 + 通水試験費 = 技術管理費(積上) 計 =	
営繕費	監督員詰所 + その他 + = 営繕費(積上) 計 =	
イメージアップ費	直接工事費 - 準備費内処分費 + 支給品費 + 無償貸付機械等評価額 = 率計算対象額(Pi) - + + = 率計算対象額(Pi) × イメージアップ費率(i) + + = × + = + = 計上しない	
計	共通仮設費 合計 + 運搬費 + 準備費 + 事業損失防止施設費 + 安全費 + 役務費 率分 + + + + + = 技術管理費 + 営繕費 + イメージアップ費 (環境対策費) =	
現場管理費	直接工事費 + 共通仮設費 + 支給品費 + 無償貸付機械等評価額 = 対象純工事費 + + + = 対象純工事費 - 対象控除額 = 処分費控除額 + 率計算対象額 - = + = 現場管理費率算定 = = 現場管理費率 = 対象額 × (採用値 + 補正值) =	
一般管理費	純工事費 + 現場管理費 = 工事原価 + = 工事原価 - 対象控除額 = 処分費控除額 + 支給品費 + 無償貸付機械等評価額 = 率計算対象額 - = + + = 一般管理費率算定 = = 定数 = 算定率 % = 一般管理費率 % 算定率 × log(前払金割合補正) + 契約保証補正 = = × = × = × = ()	

数量計算書(労務)

配水管布設

(2)

名称	形状寸法	単位	変更前					変更後						
			計 算			数量	単位長	延長(mm)	計 算			数量		
事前調査工		日	1				1							
機械式クリーニング工	TVカメラ確認含む	m	65				65							
塗 布 工		m	65				65							
反 転 挿 入 工	余尺分のシールホース 及び硬化性樹脂含む	m	65				65							
常 温 硬 化 工	TVカメラ確認含む	工区	1				1							
管 端 処 理 工		箇所	1	1	2	2	6							
支 持 金 具 設 置 工	設置・既設撤去	組	22				22							
硬質塩化ビニル管据付工	切管調書参照 150	m	8				8							
硬質塩化ビニル管切断工	切管調書参照 150	口	6				6							
メカニカル継手工	特押 離防 耐金使用しない	口	6	6	4	4	20							
硬質塩化ビニル管据付工	切管調書参照 150 模擬管	m	3				3							
既 設 管 切 断 工	パイプ切削切断機使用 150 切断のみ	口	2	2	2	2	8							
サドル分水栓建込み工	ビニル管 呼び径 150 取出し径 25	箇所	1				1							
空気弁設置工	人力施工 25	基	1				1							
埋 設 シ ー ト 工	W=300mm シングル	m	6				6							

数量計算書(土工)

配水管布設

(3)

名称	形状寸法	単位	変更前		変更後	
			計算	数量	計算	数量
立坑						
市道車道：As舗装	土被り：1.2m		L=2.8m×2か所=5.6m	5.6		
舗装版切断工	影響部(W=200)を含む As舗装 t=15cm以下	m	(3.16+2.16+3.56+2.56)×2×2=45.76	46		
舗装版取壊工	掘削積込含む As舗装 t=5cm	m ²	3.56×2.56×2=18.23	18		
機械掘削工	BH0.28m3	m3	1.76×2.8×2=9.86	10		
人力掘削工	機械人力併用掘削 床均含	m3	0.88×2.8×2=4.93	5		
残土処理工	土砂 2tDT L=2.0km以下	m3	9.86+4.93=14.79	15		
埋戻し・締固め工	碎砂 機械+タンパ	m3	2.14×2.8×2÷0.9=13.31	13		
下層路盤工	再生切込碎石40mm t=10cm	m ²	2.16×3.16×2=13.65	14		
上層路盤工	粒調碎石30mm t=10cm	m ²	2.16×3.16×2=13.65	14		
車道	人力施工					
As舗装本復旧工	密粒As舗装 t=5cm	m ²	2.56×3.56×2=18.23	18		
産業廃棄物処分	2tDT DID無 As殻 L=5.9km	m3	18.2×0.05=0.9	1		
受桁基礎碎石	再生切込碎石40mm t=10cm	m ²	0.3×3.0×2×2=3.6	4		
交通誘導員	交通誘導警備員B	人	試掘時：2名/箇所×2箇所×1日=4人・日 施工時：1名/箇所×2箇所×7日=14人・日	18		

数量計算書(土工)

配水管布設

(4)

名称	形状寸法	単位	変更前		
			計算	数量	
土留工					
土留工 設置・撤去	軽量鋼矢板 H=2.0	箇所		2	
支保工 設置・撤去	水圧式 4面梁(腹起・切梁)2段	箇所	(1.45+2.80) × 2 × 2=17.0m/箇所	2	
覆工板(ずれ止め含む)設置・撤去	1.0 × 2.0 × t200	箇所	3枚/箇所	2	
	覆工板桁 H200 × 200				
土留工 資材 賃料					
軽量鋼矢板	LSP-2型	t・日	23.6kg/m × 8.5m/箇所 × 2箇所 × 30日	12	
【整備費】					
軽量鋼矢板	LSP-2型	t	23.6kg/m × 8.5m/箇所 × 2箇所	0.4	
覆工板受桁 H形鋼	H 200 × 200	t・日	49.9kg/m × 6.0m/箇所 × 2箇所 × 30日	18	
【整備費】					
覆工板受桁 H形鋼	H 200 × 200	t	49.9kg/m × 6.0m/箇所 × 2箇所	0.6	
覆工板	鋼製すべり止め(補強型)	m ² ・月	2.0m ² /枚 × 3枚/箇所 × 2箇所 × 1月	12	
【整備費】					
覆工板	鋼製すべり止め(補強型)	m ²	2.0m ² /枚 × 3枚/箇所 × 2箇所	12	
水圧四面梁	1S型 短辺部	本	4本/箇所 × 2箇所	8	
【基本料】					
水圧四面梁	1S型 短辺部	本	4本/箇所 × 2箇所	8	
水圧四面梁	3S型 長辺部	本	4本/箇所 × 2箇所	8	
【基本料】					
水圧四面梁	3S型 長辺部	本	4本/箇所 × 2箇所	8	

価格比較表(物価資料)

名 称	形 状 寸 法	単 位	採用価格	建設物価	積算資料	摘要月
耐衝撃性硬質塩化ビニル管	HIVP 150 × 4.00m	本				R8.6
埋設標識シート	W300 × 50m シングル	巻				R8.6
軽量鋼矢板	LSP-2型 90日間以内	t・日				R8.6
〃	整備費	t				R8.6
H形鋼	H-200 90日間以内	t・日				R8.6
〃	整備費	t				R8.6
覆工板	鋼製すべり止め(補強型)90日間以内	m ² ・日				R8.6
〃	整備費	m ²				R8.6
水圧四面梁	調整長1200 ~ 1620mm	本				R8.6
〃	基本料	〃				R8.6
〃	調整長2600 ~ 3600mm	〃				R8.6
〃	基本料	〃				R8.6

特記仕様書

(適用範囲)

第1条 本仕様書は、阿久根市水道課の発注する次の工事に適用する。なお、本仕様書並びに設計図書に記載のない事項については、発注者の監督員の指示による。

工事名

令和8年度市道波留大曲線浜田橋添架管補強工事

施工場所

阿久根市 波留 地内

(関係法令等の遵守)

第2条 受注者は、建設工事請負契約書、建設業法、騒音規正法、労働基準法等その他の関係法令並びに関係官公署の許可条件を遵守し、工事の円滑な進捗を図らなければならない。

2 工事中、受注者の不注意またはそれに類する原因により、作業員が負傷した場合、その責任は受注者が負うものとする。

3 本工事は、鹿児島県土木工事共通仕様書に準拠するもののほか、阿久根市契約規則を遵守するとともに、工事の仕様は本仕様書によるものとする。また、本仕様書以外の現場説明事項は、仕様書の一部とみなすものとする。

(適用法令)

第3条 本工事に当たっては、次の法令等を遵守しなければならない。

水道法

建設業法

労働基準法

労働安全衛生法

廃棄物処理及び清掃に関する法律

日本工業規格（ J I S ）

日本水道協会発行水道工事標準仕様書（ J W W A ）

鹿児島県土木工事施工管理基準

上記に記載のないものは、公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）国土交通省大臣官房庁営繕部）、公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編）（国土交通省大臣官房庁営繕部）による。

その他関係法令、条例、規格等

（打ち合わせ）

第4条 本工事等の契約締結後、速やかに受注者は、発注者の監督員との打ち合わせ及び現場調査等を実施し、その施工内容を熟知すると共に、疑義があればこれを正し、受注者はその打ち合わせ内容についての議事録を作成し、記録等を整備するものとする。

（施工条件明示）

第5条 本工事の施工条件は次のとおりであり、受注者は施工計画書の作成時及び工事施工時においては、十分留意するものとする。

なお、明示した施工条件に重大な変更が生じた場合は、協議の上で契約変更の対象とする。

工事内容 上水道用管路の自立型更生工法

施工区間	管種	管径	延長	工法及び用途
配水管	既設管：CIP	150	65.0m	管更生工法
立坑内	既設管：CIP	150	4.0m	既設管撤去、 新設管HIVP布設

ア 本施工に先立ち各立坑位置において、試験掘りを行い、既設管（断管による管内状況）を確認すること。

イ 管内清掃時及びライニング完了時における管内面

の状態をテレビカメラにて撮影を行い、監督員の確認を受けるものとする。また、テレビカメラにて撮影した状況は、電子媒体に記録し、完成図書とともに提出すること。

ウ シールホースの挿入にあたり圧力、速度等の管理を適切に行い、大きいしわ、ふくれ等の発生することのないよう施工すること。

エ 接着層が硬化するまで適切な養生、管理を行い、その経過に関する記録を提出すること。

オ ホースライニング工法施工後の管末端処理は既設管において腐食対策を十分に講じた施工とすること。

カ シールホースの材質は次のものとする。

(ア) 繊維層：ポリエステル繊維

(イ) 補強層：ガラス繊維

(ウ) 被覆層：ポリエチレン樹脂、ポリオレフィン樹脂

(エ) 水質試験：「JWWA Z 108」及び「JWWA K 143」に適合

(オ) 硬化性樹脂：（主剤）エポキシ樹脂、（硬化剤）変性脂肪族ポリアミン

(カ) シールホースの必要厚さ $t=2.6\text{mm}$ 以上

(キ) 参考積算については、パルテムHL工法「シールホースWHX」にて計上している。

工程関係

橋りょう改修工事により足場が設置されているため、足場が必要な作業（支持金具、既設管及び空気弁の撤去・設置）は、当該工事の受注者と工程調整のうえ施工すること。

なお、足場の架設期限は令和8年12月を想定している。

（承諾図書）

第6条 受注者は、契約締結後、必要に応じて、機器の製作

及び工事の施工に必要な図面等を作成し、発注者の監督員の承諾を受け、その後に着手すること。

(写真管理)

第 7 条 本工事の写真管理は、鹿児島県土木工事施工管理基準に基づき管理すること。

(段階確認)

第 8 条 受注者は、確認時期ごとに事前に監督職員と日程調整を行うとともに、確認項目について事前に監督職員の確認を受けるものとする。

また、受注者は、確認項目に関する管理資料（出来形、品質管理資料等）を臨場時まで準備し、それに基づいて当該箇所の段階確認を受けるとともに、監督員の確認状況については写真撮影すること。

種別	細別	確認時期
材料検収		材料搬入時
管更生	クリーニング工	実施状況
管更生	反転挿入工	実施状況
管更生	硬化工	実施状況
管更生	管末処理工	実施状況
水圧試験	0.74MPa	水圧試験時

(提出書類)

第 9 条 受注者は、契約締結後、次の書類を提出するものとする。

なお、書類のサイズは A 4 版を基本とする。

工事着手時に提出するもの

ア 工事着手届 1 部

イ 工程表 2 部

ウ 現場代理人等選任通知書 1 部

- エ 工事カルテ登録内容確認書 (500万円以上) 1部
- オ 建設業退職金共済掛金収納書 1部
- 工 工期内の適時に提出するもの
 - ア 工事打合簿 2部
 - イ 施工計画書 2部
 - ウ 施工体制台帳の写し (必要な場合) 2部
 - エ 施工体系図 (必要な場合) 2部
 - オ 工事履行状況報告書(月末) 2部
 - カ 安全教育訓練等報告書 2部
 - キ その他必要な書類 必要部数
- 竣工時に提出するもの
 - ア 工事完成通知書 2部
 - イ 完成図書 製本 1部
- 上記電子データ 2部
- ウ その他必要な書類 必要部数

(施工体制台帳の提出等)

- 第10条 建設業法第24条の7第1項に規定する施工体制台帳を作成しなければならないものは、工事について作成した施工体制台帳の写しを提出しなければならない。
- 2 前項に規定するものは、阿久根市水道課から、工事の施工の技術上の管理をつかさどるものの設置の状況、その他の工事現場の施工体制が施工体制台帳の記載内容に合致しているかどうかの点検を求められたときには、これに応じなければならない。
- 3 第1項に規定するものについての建設業法第24条の7第4項の規定の適用については、同項中「見えやすい場所」とあるのは、「工事関係者が見えやすい場所及び公衆が見えやすい場所」とする。

(軽微な変更)

第11条 軽微な変更については、発注者の監督員の指示によるものとする。

本仕様書及び図面に記載してないものでも、設備の機能、保安及び法規上必要なものはすべて受注者の負担で完備するものとする。

~~(機器等の保管)~~

~~第12条 工事完了までの機器等の保管・保護は受注者の責任とする。なお、保管場所については、発注者の監督員の指示によること。~~

(既設工作物の損傷)

第13条 工事の施工において、既設の建築物・その他に損傷を与えた場合は、受注者の負担において速やかに原形に復旧すること。

(排出ガス対策型建設機械の使用)

第14条 本工事において、仕様書に明示する建設機械は、排出ガス対策型建設機械指定要領に基づき国土交通省で指定された建設機械を使用するものとする。なお、排出ガス対策型機械に代えて、国土交通省で認定された排出ガス浄化装置を装着した建設機械についても、排出ガス対策型と同等とみなすものとする。排出ガス対策型建設機械を使用する場合は、施工計画書に記載するものとする。

(ダンプトラック等による過積載防止について)

第15条 工事用資材等の積載超過のないようにする。

2 過積載を行っている資材納入業者から、資材を購入しないこと。

3 資材に過積載を防止するため、資材の購入にあたっては、資材納入業者の不当に害することがないようにすること。

- 4 さし枠の装置又は物品積載装置の不当改造をしたダンプカーが、工事現場を出入りすることがないようにする。
- 5 「土砂等を運搬する大型自動車による交通事故の防止等に関する特別措置法」（昭和42年法律第131号。以下「法」という。）の目的に鑑み、法第12条に規定する団体等の設立状況を踏まえ、同団体等への加入者の使用を促進すること。
- 6 下請契約の相手方又は資材納入業者を選定するにあたっては、交通安全に関する配慮に欠けるもの又は業務に関し、ダンプトラック等によって悪質、かつ、重大な事故を発生させたものを排除すること。

（現場の管理）

第16条 受注者は現地工事開始とともに現場代理人及び主任技術者（監理技術者が必要な場合は監理技術者）を現地に常駐させ、工事の進捗と安全管理、火災、盗難、その他の事故防止に十分な注意を払い、労働災害の防止に努めるものとする。月に延べ4時間以上の安全講習を実施すること。また、常に整理・清掃を実施し、工事完了に際しては、工事場所の清掃を実施するものとする。

（衛生管理）

第17条 工事箇所の衛生管理には十分に注意すること。また、油脂や薬剤等飲料水に不適なものは取扱に注意すること。なお、池内及びその上部では油脂類は使用しないこと。周囲で使用する場合は内部に流入しないように十分注意すること。

- 2 作業従事者は、水道法第21条による健康診断（検便）を受け、その診断結果に異常がないものとする。

（試験及び検査）

第18条 工場検査の試験事項は、立会日の10日以前に書類により提出すること。また、公的機関やこれに準ずる機関の証明書等によって成績が確認できる場合は、発注者の監督員の指示により省略することができる。

2 工場検査の結果は、写真等を添付し、迅速に書類にて発注者の監督員に報告すること。

3 試験検査に必要な計器等は、受注者で準備するものとする。

(電子納品)

第19条 本工事は、電子納品対象工事とする。電子納品とは、「調査、設計、工事などの各業務段階の最終成果を電子成果品として納品すること」をいう。ここでいう電子成果品とは、「阿久根市電子納品ガイドライン(令和4年1月)：(以下「ガイドライン」という。)」に定める基準に基づいて作成した電子データを指す。

【阿久根市ウェブサイト】

ホーム > 市政情報 > 施策・計画 > 土木・建築・交通 > 電子納品

2 ガイドラインに基づいて作成した電子成果品は電子媒体で正本1部、副本1部の計2部提出する。電子納品レベル及び成果品の電子化の範囲については、事前協議を行い決定するものとする。

3 電子成果品を提出する際は、阿久根市の公開する電子納品チェックソフト(鹿児島県専用電子納品チェックソフト)によるチェックを行い、エラーが無いことを確認した後、ウィルス対策を実施した上で提出しなければならない。

(週休2日の試行工事)

第20条 本工事は、「週休2日」試行工事の対象である。

2 試行に当たっては、『「週休2日」試行工事実施要領』

に基づき行うものとする。

3 実施要領は、阿久根市ホームページから取得できる。

(熱中症対策に資する現場管理費の補正の試行)

第21条 本工事は、熱中症対策に資する現場管理費の補正の試行対象工事である。

2 試行にあたっては、「熱中症対策に資する現場管理費の補正の試行について」に基づき行うものとする。

3 「熱中症対策に資する現場管理費の補正の試行について」は、阿久根市ホームページから取得できる。

(現場代理人の兼任)

第22条 現場代理人の兼任を認める工事

現場代理人は、請負契約の的確な履行を確保するため、工事現場の運営、取締りのほか、工事の施工及び契約関係事務に関する一切の事項(請負代金の変更、契約の解除等を除く。)を処理する受注者の代理人であるが、次の から のすべてを満たし、工事現場における運営、取締り及び権限の行使に支障がないと発注者が認めた場合、工事現場の兼任を認めるものとする。

また、主たる工種が区画線工事の場合、次の 、 及び の全てを満たし、工事現場における運営、取り締まり及び権限の行使に支障がないと発注者が認めた場合は工事現場の兼任を認めるものとする。

なお、専任の主任(監理)技術者と現場代理人を兼務する場合において、専任の技術者配置の特例により他の現場と兼任が認められた工事については、 、 、 の要件を満たすものとし、兼任できる工事は2件までとする。

兼任できる工事は3件までとし、それぞれの工事の請負金額が4,500万円未満であること。ただし、設計変更により、工事の請負金額が4,500万円以上となり、各々の工

事における主任（監理）技術者と現場代理人が異なる場合においては、受発注者協議の上、兼任することが出来る。

発注者又は監督員と常に携帯電話等で連絡をとれること。

兼任する工事の相互の移動は、概ね1時間以内であること。

発注者又は監督員が求めた場合には、工事現場に速やかに向かう等の対応を行うこと。

兼任する現場代理人は、必ず担当工事現場のいずれかに常駐するとともに、1日1回以上、担当工事現場を巡回し、現場管理等に当たること。

兼任する現場代理人は、必ず担当する工事現場のいずれかに常駐するとともに、それぞれの現場稼働日は重複しないこと。

2 手続き

現場代理人の兼任を行う場合には、「兼任（変更）申請書」（別紙1）を提出し、発注者の承認を得たのち、必要に応じ、「現場代理人等選任（変更）通知書」により、発注者に通知すること。

なお、各々の工事において、発注者に現場代理人の兼任の承認を得ること。

3 受注者に対する措置請求

安全管理の不徹底や現場体制の不備に起因する事故等が発生した場合、建設工事請負契約書第12条に基づき、受注者に対して、必要な措置をとるべきことを請求するものとする。

契約担当者

殿

請負者
商号又は名称
代表者の氏名

現場代理人の兼任（変更）申請書

下記工事について、現場代理人を兼任したいので（変更）申請します。
なお、両工事の施工に当たっては、関係法令等を遵守し、安全管理及び工程管理に留意します。

記

兼任する工事 (県土木部工事)	主任技術者		
	現場代理人		
	工事名		
	工事場所		
	工期		
	請負金額(税込み)		
	現場代理人不在の間の緊急連絡先	氏名	
	連絡先		
兼任する他の工事	主任技術者		
	現場代理人		
	工事名		
	工事場所		
	工期		
	請負金額(税込み)		
	発注機関名		
	監督員氏名		
発注機関の連絡先			
兼任する他の工事	主任技術者		
	現場代理人		
	工事名		
	工事場所		
	工期		
	請負金額(税込み)		
	発注機関名		
	監督員氏名		
発注機関の連絡先			
工事現場の相互の 距離・移動時間	-	km	分
	-	km	分
	-	km	分

添付書類：兼任する他の工事の当初契約書（写し）（**契約前の工事については後日提出**）
兼任する他の工事について、兼任の承認をうけていることがわかる書類の写しを後日提出すること

令和 第 年 月 号 日

請負者
商号又は名称
代表者の氏名

契約担当

現場代理人の兼任について

年 月 日付けで申請のあった下記工事の現場代理人を兼任について、「工事現場における運営、取締り及び権限の行使に支障がない」と認めます。

記

- 1 工事名
- 2 工事場所
- 3 その他
他の兼任する工事において発注者の承認を得た場合、兼任の承認について有効とする。

令和 第 年 月 号 日

請負者
商号又は名称
代表者の氏名

契約担当

現場代理人の兼任について

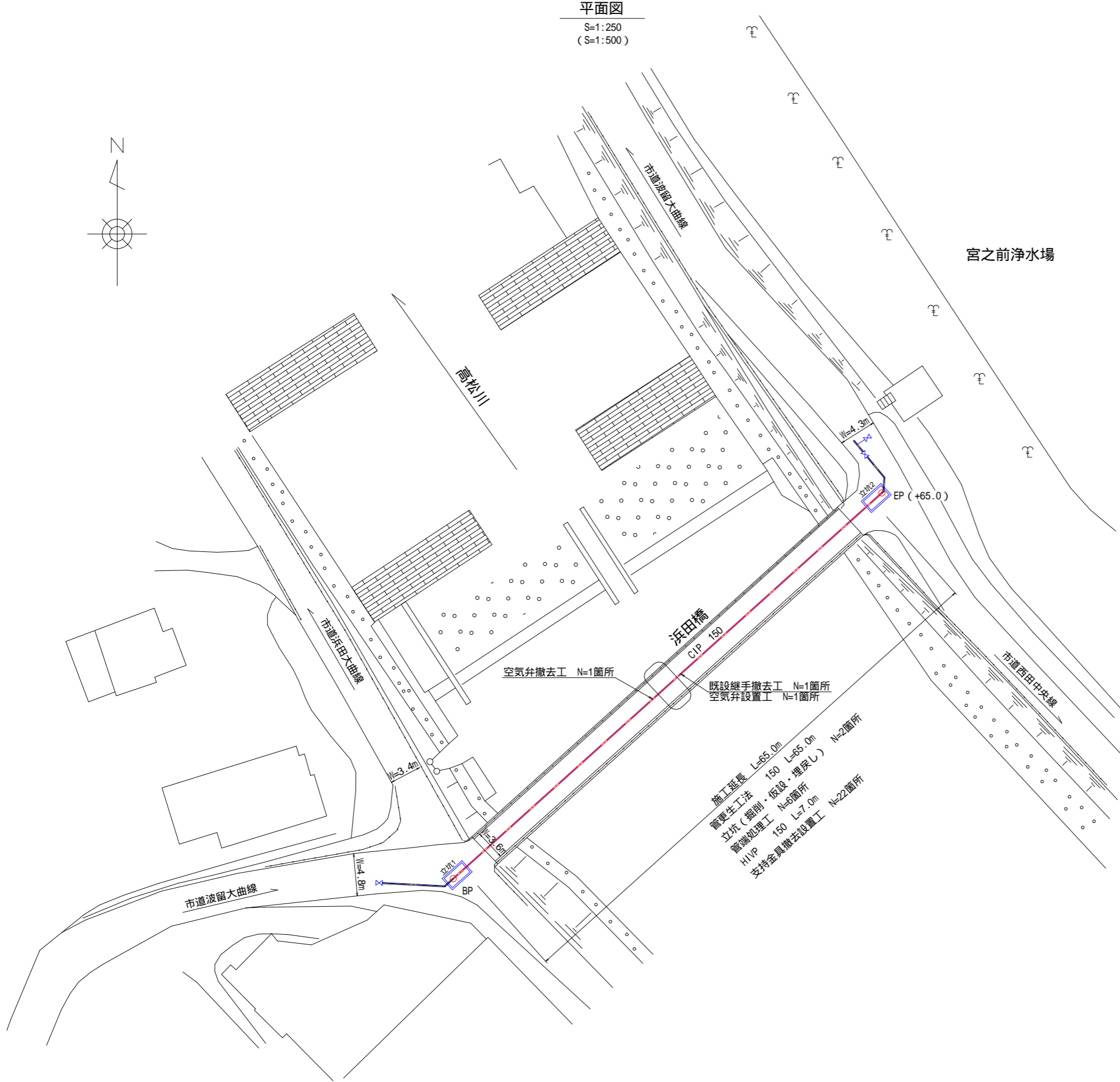
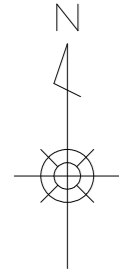
年 月 日付けで申請のあった下記工事の現場代理人を兼任について、「工事現場における運営、取締り及び権限の行使に支障がない」と認められません。

記

- 1 工事名
- 2 工事場所
- 3 不承認の理由

令和8年度 市道波留大曲線浜田橋添架管補強工事

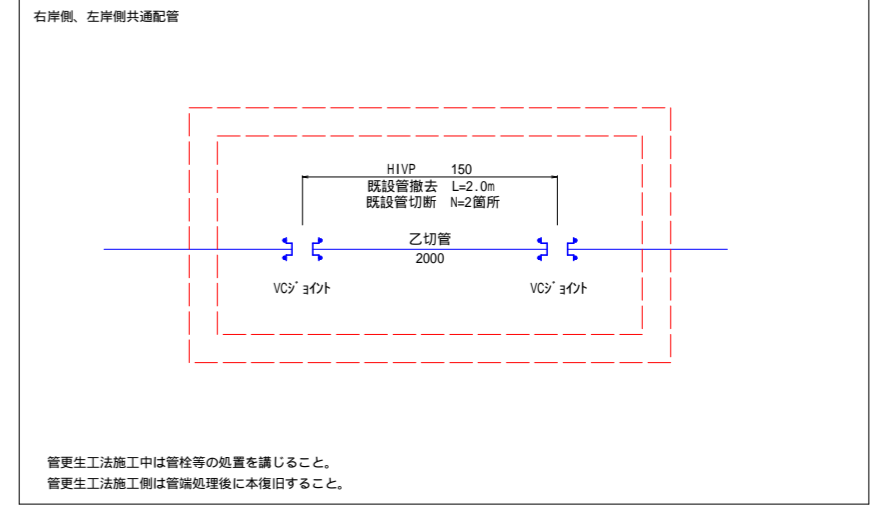
平面図
S=1:250
(S=1:500)



- 施工延長 L=65.0m
- 管更生工法 150 L=65.0m
- 立坑 (掘削・仮設・埋戻し) N=6箇所
- 管端処理工 L=7.0m N=22箇所
- HIVP 150
- 支持金具撤去設置工 N=22箇所

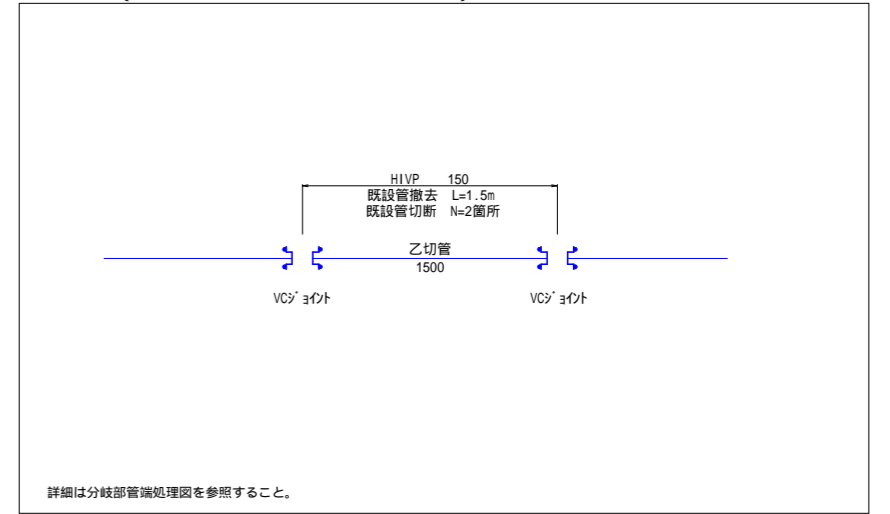
配管図 (立坑部 管更生工法後本復旧)

S=FREE



配管図 (既設空気弁及び継手撤去部)

S=FREE



実施設計図

工事名	令和8年度 市道波留大曲線浜田橋添架管補強工事		
図面名	平面図		
作成年月日			
縮尺	各図参照	図面番号	1 / 5
会社名			
事業者名	阿久根市水道事業		

() 内の縮尺はA3版出力時を示す。

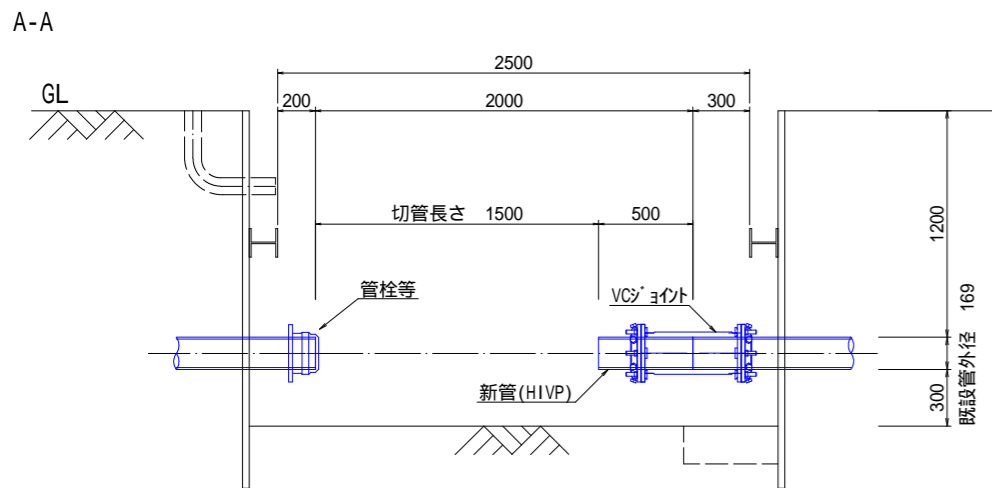
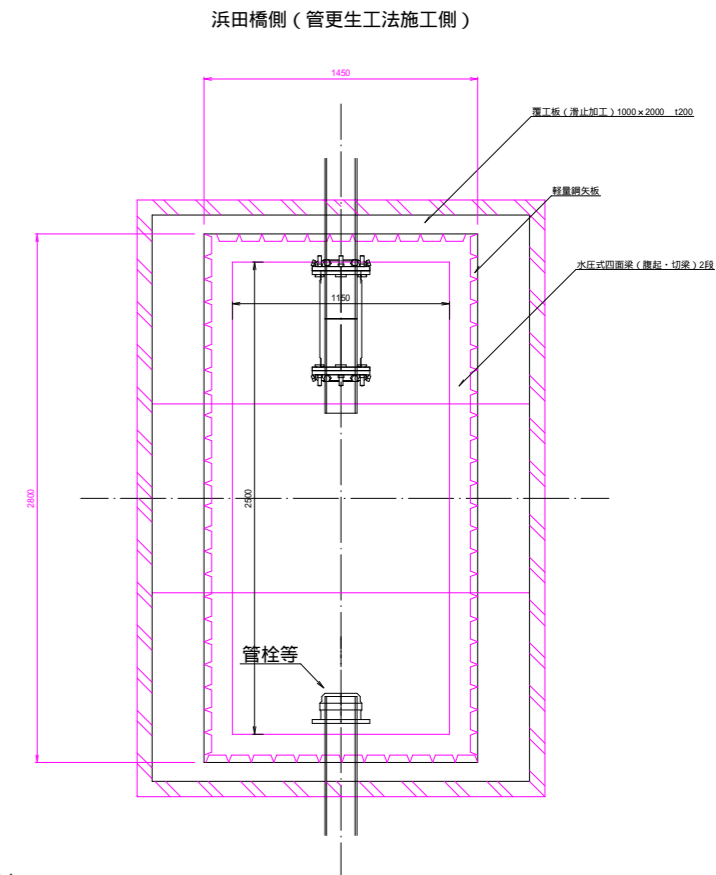
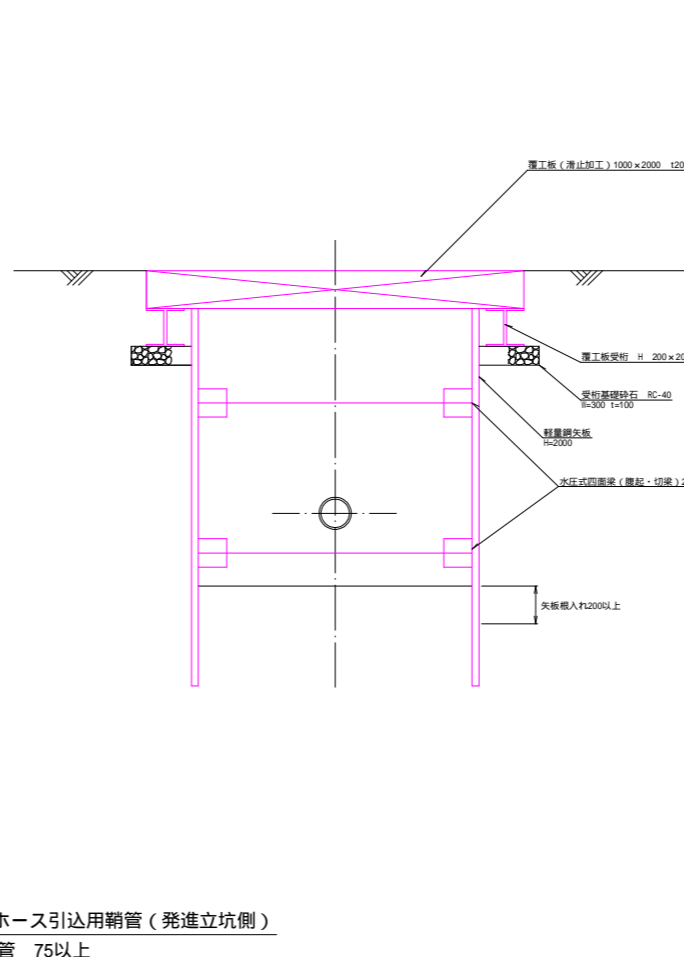
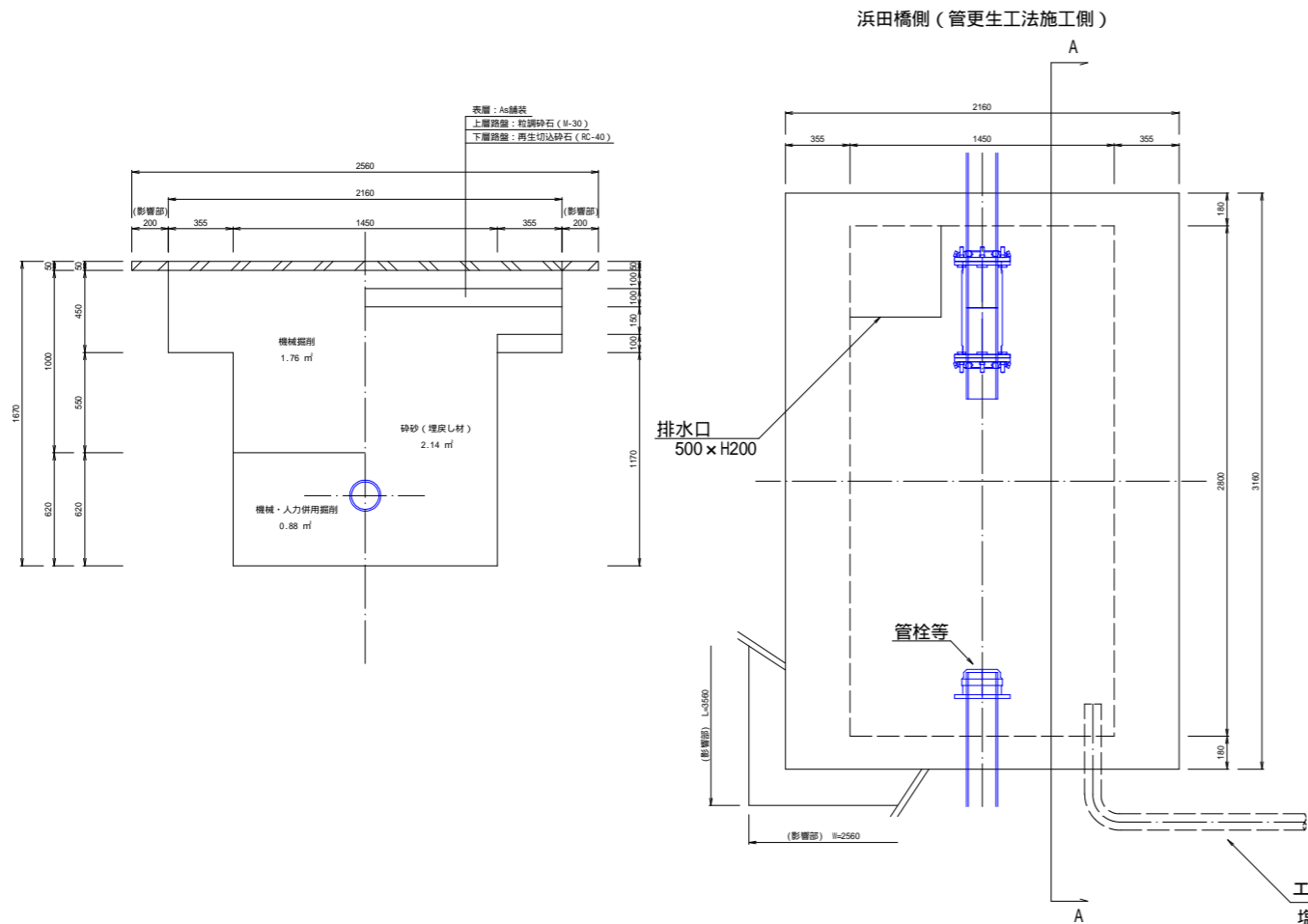
令和8年度 市道波留大曲線浜田橋添架管補強工事

掘削断面図

S=1:20
(S=1:40)

立坑断面
掘削断面図 N=2箇所

立坑断面
仮設参考図 N=2箇所



管更生工法施工時は施工側に新管(L=0.5m)を設置すること。

土工事数量計算表

名称	規格	計算式	数量	単位
舗装切断工	As t=15cm以下	(2.16+3.16+2.56+3.56) × 2 × 2	45.76	m
舗装取除工	As t=5cm	2.56 × 3.56 × 2	18.23	m ²
機械掘削工	BH 0.28m ³	1.76 × 2.80 × 2	9.86	m ³
人力掘削工	機械人力併用	0.88 × 2.80 × 2	4.93	m ³
残土処理工	土砂	9.86+4.93	14.79	m ³
埋戻し・締固め工	機械 + タンバ	2.14 × 2.8 × 2 + 0.9	13.31	m ³
下層路盤工	再生切込砕石 t=10cm	2.16 × 3.16 × 2	13.65	m ²
上層路盤工(仮復旧)	粒調砕石 t=10cm	2.16 × 3.16 × 2	13.65	m ²
As本復旧工	密粒As t=5cm	2.56 × 3.56 × 2	18.23	m ²
産業廃棄物処分	As	18.2 × 0.05	0.91	m ³
受桁基礎砕石	再生切込砕石 t=10cm	0.3 × 3.0 × 2 × 2	3.60	m ²

仮設材計算表

名称	規格	計算式	数量	単位	備考
軽量鋼矢板	LSP-2型 H=2000	(2.8+1.45) × 2 × 2箇所	17.0	m	
覆工板	鋼製すべり止め(補強型)	2.0m ² /枚 × 3枚 × 2箇所	12.0	m ²	
水圧四面梁	2段	(2.8+1.45) × 2 × 2段 × 2箇所	34.0	m	

土留工資材数量一覧

名称	規格	計算式	数量	単位	備考
軽量鋼矢板	LSP-2型 H=2000	23.6kg/m × (2.8+1.45) × 2 × 2箇所	0.4	t	
覆工板受桁	H形鋼 H 200 × 200	49.9kg/m × 6.0m/箇所 × 2箇所	0.6	t	
覆工板	鋼製すべり止め(補強型)	2.0m ² /枚 × 3枚/箇所 × 2箇所	12	m ²	
水圧四面梁	1S型 短辺部	2本 × 2段 × 2箇所	8	本	
水圧四面梁	3S型 長辺部	2本 × 2段 × 2箇所	8	本	

運搬重量計算表

名称	規格	計算式	数量	単位	備考
軽量鋼矢板	LSP-2型 H=2000	23.6kg/m × 8.5m/箇所 × 2箇所	0.40	t	23.6kg/m
覆工板受桁	H形鋼 H 200 × 200	49.9kg/m × 6.0m/箇所 × 2箇所	0.60	t	49.9kg/m
覆工板	鋼製すべり止め(補強型)	430kg/枚 × 3枚/箇所 × 2箇所	2.58	t	430kg/枚
水圧四面梁	1S型 短辺部	19.2kg/本 × 2本 × 2段 × 2箇所	0.15	t	19.2kg/本
水圧四面梁	3S型 長辺部	63.3kg/本 × 2本 × 2段 × 2箇所	0.51	t	63.3kg/本
合計			4.24	t	

実施設計図

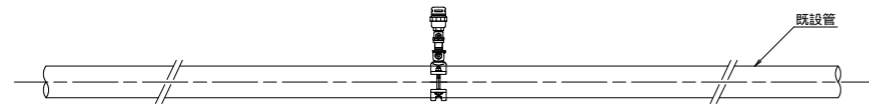
工事名	令和8年度 市道波留大曲線浜田橋添架管補強工事		
図面名	掘削断面図		
作成年月日			
縮尺	各図参照	図面番号	2 / 5
会社名			
事業者名	阿久根市水道事業		

()内の縮尺はA3版出力時を示す。

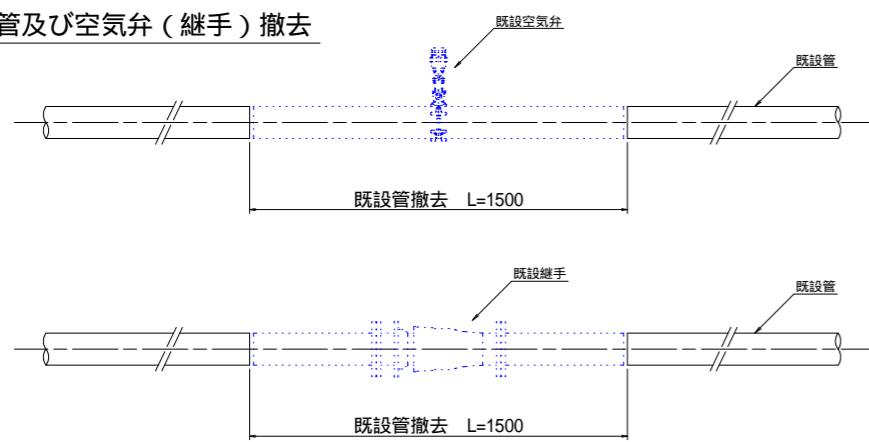
令和8年度 市道波留大曲線浜田橋添架管補強工事

管端処理図 S=FREE

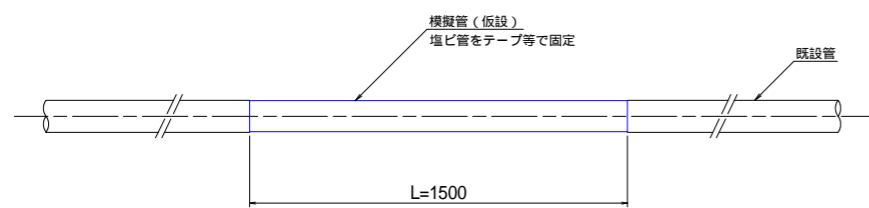
管更生工法施工前



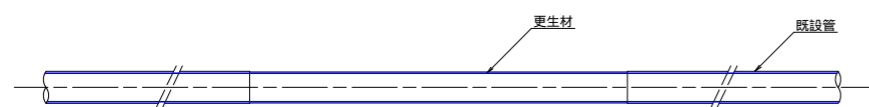
既設管及び空気弁（継手）撤去



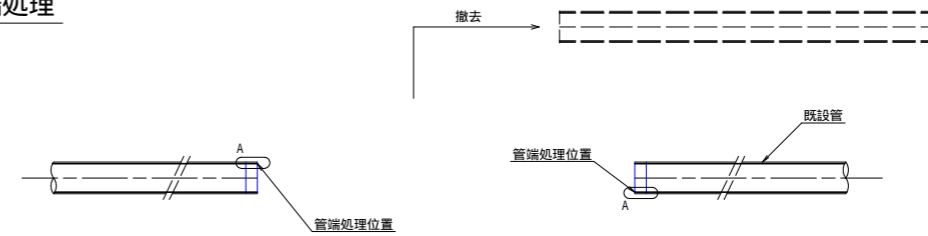
模擬配管取付



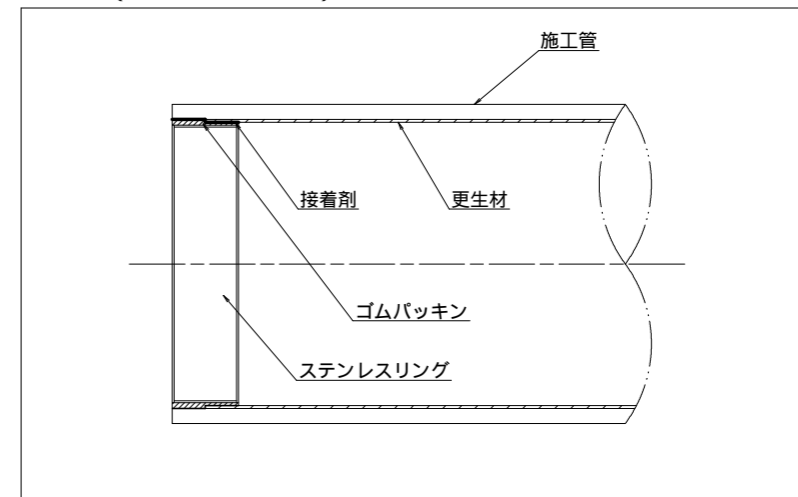
管更生工法施工



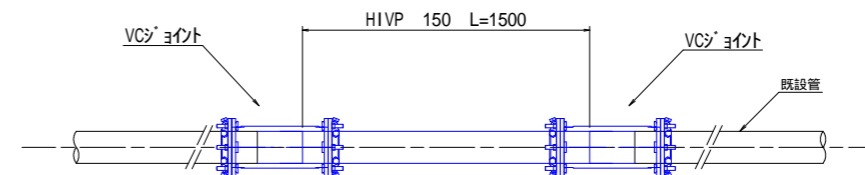
管端処理



A詳細（管端処理拡大図）

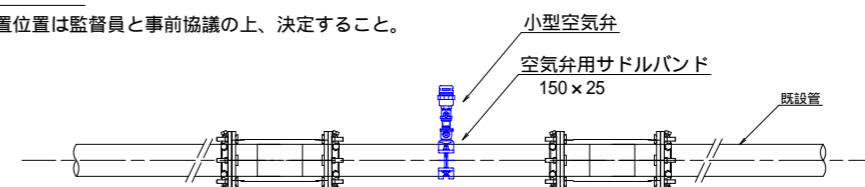


配管復旧



空気弁復旧

空気弁設置位置は監督員と事前協議の上、決定すること。



既設管撤去位置及び空気弁設置位置については監督員と事前協議の上、決定すること。

()内の縮尺はA3版出力時を示す。

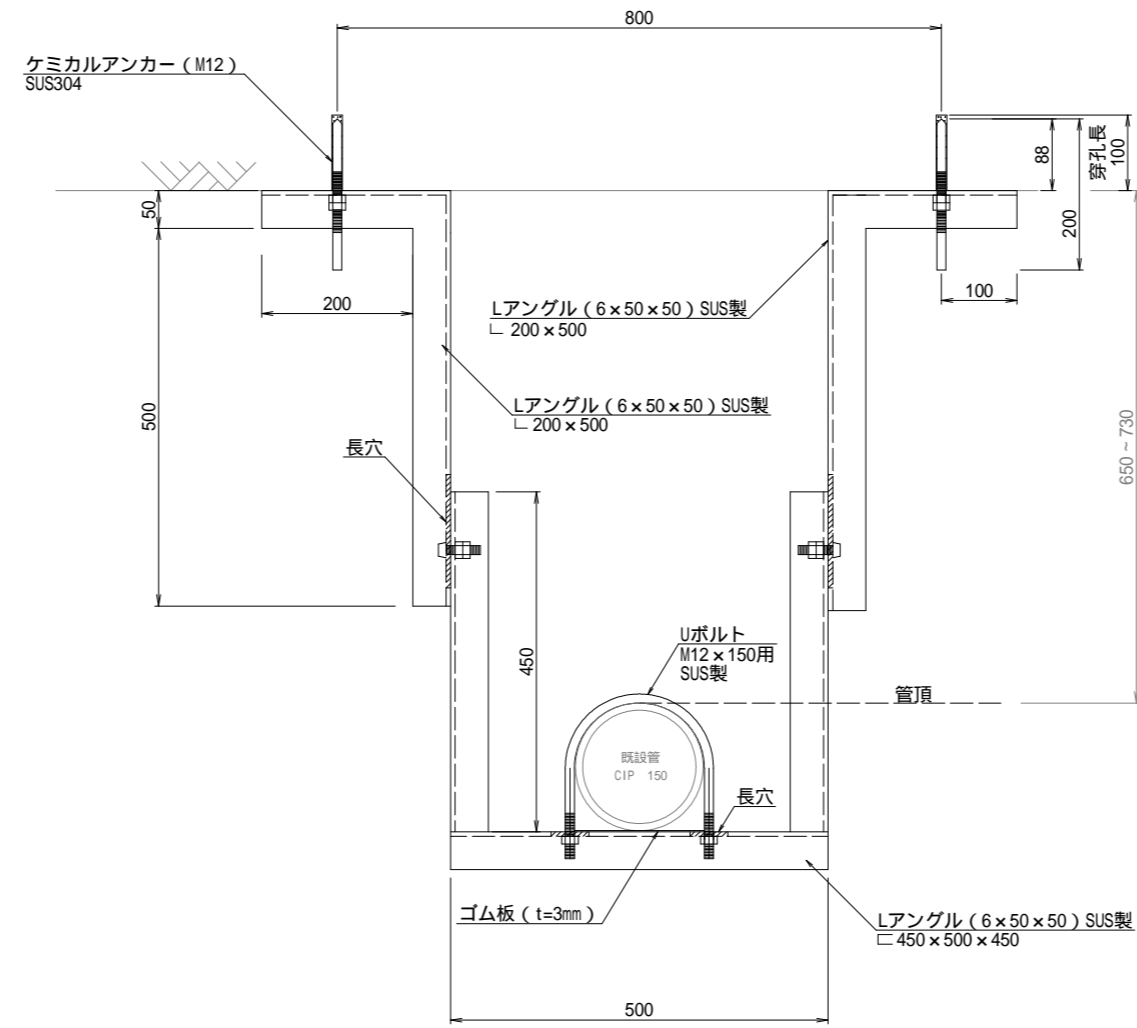
実施設計図

工事名	令和8年度 市道波留大曲線浜田橋添架管補強工事		
図面名	管端処理図		
作成年月日			
縮尺	FREE	図面番号	3 / 5
会社名			
事業者名	阿久根市水道事業		

令和 8 年度 市道波留大曲線浜田橋添架管補強工事

支持金具詳細図

S=1:5
(S=1:10)



既存の支持金具は撤去すること。
 既存の支持金具の切断面はさび止め加工を施すこと。
 既設管継手の腐食したボルトは取替を行うこと。

実施設計図

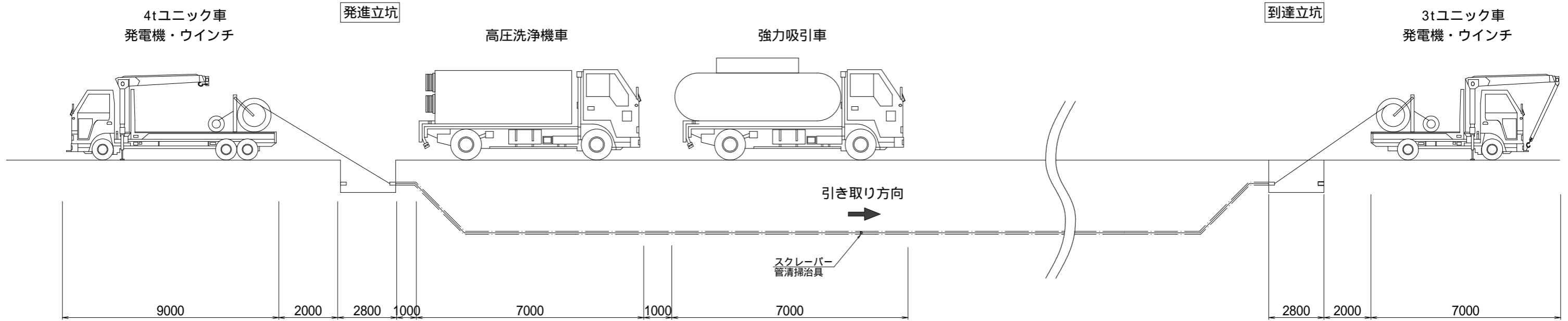
工事名	令和 8 年度 市道波留大曲線浜田橋添架管補強工事		
図面名	詳細図		
作成年月日			
縮尺	各図参照	図面番号	4 / 5
会社名			
事業者名	阿久根市水道事業		

()内の縮尺はA3版出力時を示す。

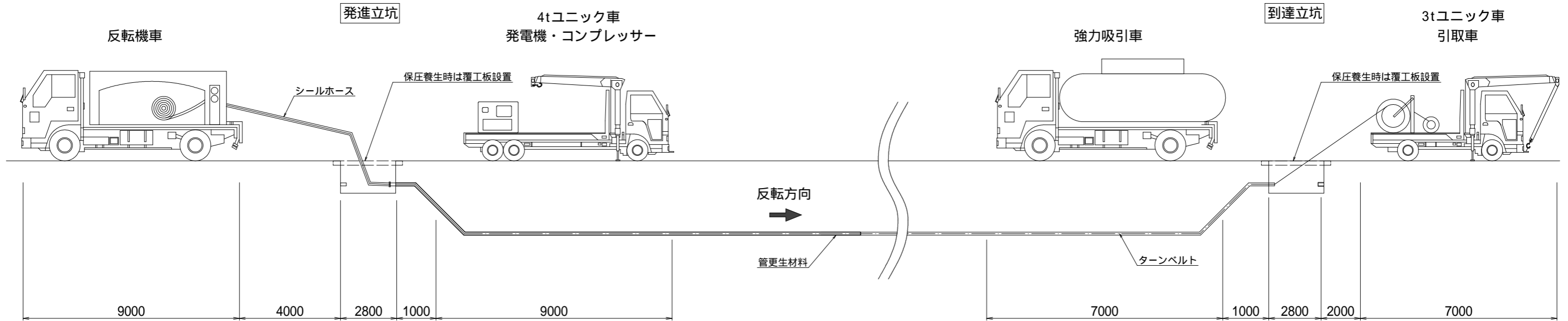
令和8年度 市道波留大曲線浜田橋添架管補強工事

施工手順図
S=FREE

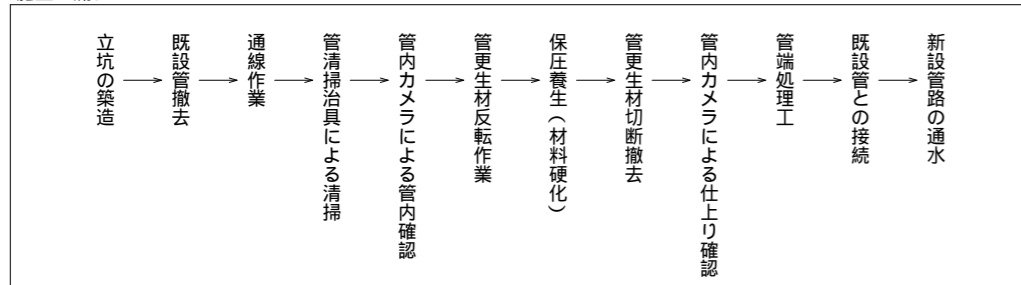
管内清掃施工時



管更生工法施工時



施工の流れ



実施設計図(参考図)

工事名	令和8年度 市道波留大曲線浜田橋添架管補強工事		
図面名	分岐部管端処理図		
作成年月日			
縮尺	FREE	図面番号	5 / 5
会社名			
事業者名	阿久根市水道事業		